

# Weekly Report

(2013年11月第5週)

光世証券株式会社

## 株式市場概況

### ● 先週 (11/18 - 11/22) の動き

週初はもみ合っていた株式は、週末に掛け上昇した。きっかけとなったのは水曜日に発表された10月分のFOMC議事録で、債券購入額が数ヶ月以内に縮小される可能性が示唆されたことからドル円が弱くなったことだった。木曜日に行われていた日銀政策決定会合では現状の政策の維持が発表され、ドル円は一段と弱含み、一気に101円台に乗せた。円安の動きを好感し、日本の株式市場では積極的に買う動きが見られ、金曜日には日経平均が1万5,600円まで上昇する場面もあった。しかし、約2週間で10%を超える上昇となっていることから、引けにかけては利食いの売りが散見され、引値は前週末比+1.42%の1万5,381円となった。

セクター動向の上昇トップは繊維製品となった。寄与度トップの東レの、国内証券会社による格付け引き上げが要因だった。他には証券・商品、保険など金融系の上昇が目立つ。下落トップは前週に引き続き空運となった。その他では、前週は上昇上位となっていた不動産、倉庫運輸が下落に転じているのが目立つ。

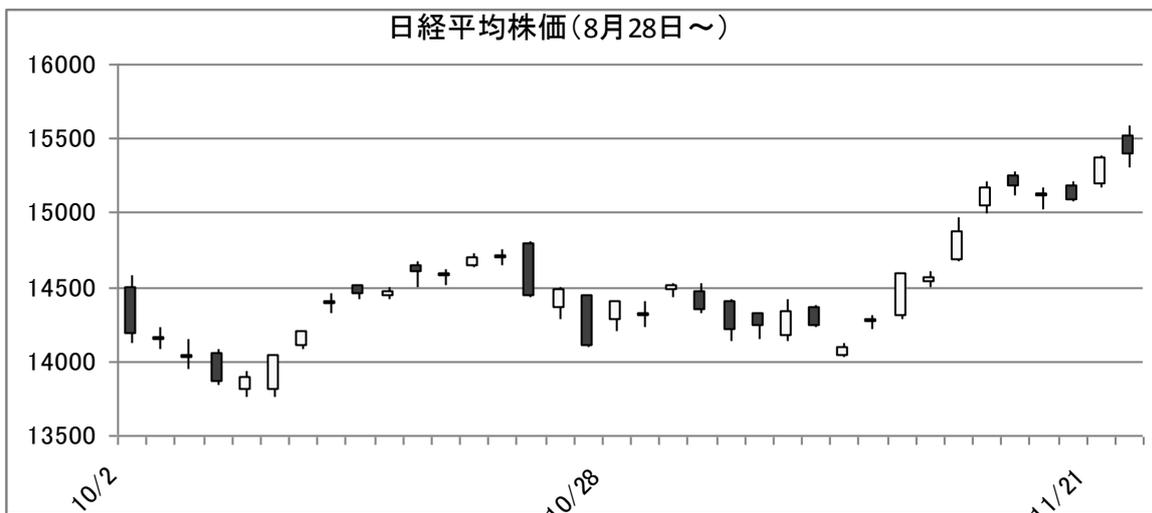
スタイルインデックスではマザーズが上昇トップとなった。こちらでもリートが最下位と不動産関連の不調が気にかかる。

セクター動向(先週末比)				各種国内株式指数動向(先週末比)			
繊維製品	3.84%	空運	-3.19%	マザーズ	3.58%	コア30	0.69%
その他金融	3.71%	不動産業	-2.08%	日経平均株価	1.42%	ミッド400	0.62%
証券商品先物	2.97%	電気ガス	-1.82%	TOPIXL70	1.16%	TOPIXバリュー	0.58%
保険	2.73%	陸運	-1.26%	TOPIXグロース	0.96%	TOPIXスモール	0.44%
精密機器	2.44%	倉庫運輸	-0.90%	東証2部	0.84%	REIT指数	-2.06%
情報通信	2.33%	非鉄金属	-0.49%	TOPIX	0.77%		

## 今後の注目材料

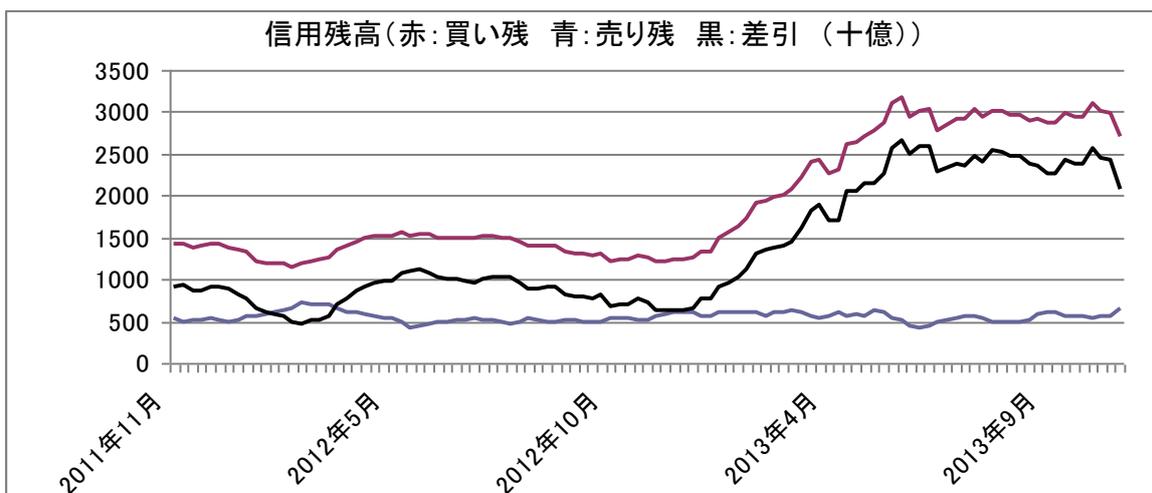
これまで先物中心の物色だったが、先週の後半にかけて徐々に現物でも物色の広がりを感じられる展開となった。これまでの上昇のスピードが速いため、日経平均の上昇速度は落ちると考えられるが、その代わりに個別株の物色が本格化する展開を想定している。市場全体の出来高が増えれば、日経平均株価は年初来高値である1万6,000円台への上昇も見えてくる。このところ投資家の期待が剥げ落ちているものの、政府による第三の矢がそのきっかけとなる可能性も無きにしも非ずなので注目しておきたい。

米国の株価は史上最高値近くでの展開となっているが、「PERが高い」など高値に不安を感じさせる指摘が目につく。FEDの金融政策は、12月(17、18日開催)のバーナンキ議長最後のFOMCでは変更がないというのが市場の多数の見方となっている。しかし、ここ最近のように強い経済指標が出続けると、緩和政策の早期引き締めへの不安から、少し下押し展開もありえる。そのようなことから日経平均株価も1万6,000円より上は材料がない限り重いだらう。



## 需給動向 (前週分)

投資主体別売買動向は海外投資家が1兆1,720億円の買い越しに対し、個人が1兆1,526億円の売り越しとなった。海外投資家の買い越し額は今年二番目の金額、対して個人の売り越し額は過去最高となった。信用買い残高は1割ほど減少。裁定買い残高は1割強の増加となった。



	自己	委託	投資信託	事業法人	信託銀行	個人	海外投資家
2013/11/15	135.43	-96.54	82.17	-37.66	-58.18	-1152.65	1172.06
2013/11/8	-146.16	153.00	6.15	31.77	9.01	-77.53	209.92
2013/11/1	-6.26	27.47	9.79	12.46	28.86	-222.17	227.77
2013/10/25	19.51	-8.71	-15.93	1.54	-96.60	122.92	-24.22
2013/10/18	79.60	-40.98	-2.43	39.59	-7.22	-318.10	266.59
2013/10/11	-254.36	249.97	101.11	18.64	37.90	-149.54	235.94
2013/10/4	-172.50	130.52	19.39	22.89	-84.18	177.26	-11.08

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第14号  
加入協会／日本証券業協会